



★モザイクアートを作っている時は、なかなかイメージが浮かびませんでした。完成したのを見たら、すごく達成感がありました。舞台には立ってなくても、クラスや学年の一員として頑張ることの大切さも学びました。



★本番前の舞台裏で、始まる前にみんなから「めっちゃキレイ！」「とか「頑張ろう！」という前向きな言葉が自然に出ていて、すごく楽しかったです。

★文化祭は本当に大成功したと思います。ダンスも最初の場面だったので、とても緊張しました。けど、みんなで声をかけ合って、「大丈夫だから、今までしてきたことを全力で出し切ろう」と、お互いを励まし合いました。こういう時に、お互いで高め合え、励まし合える仲間がいい仲間だと思いました。

作品紹介

舞台は今から50年後のユートピア学園。社会から問題児と決めつけられた子どもたちを厳しく管理・教育する学校でした。ある日、心をもったロボットが来ます。「エルリックコスモス」、通称「エルコス」。彼女の優しい心に触れた子どもたちは、心を開き、瞳に輝きを取り戻していきます。そんな中、幼い頃から機械に囲まれて育ったジョンはロボットを信じる事ができません。そして、ジョンは大変な過ちを犯してしまいます。果たして、エルコスの祈りは、みんなの心に届くのでしょうか。全員が一つになり、心温まるミュージカルになっています。



★ミュージカルの最後の歌を歌っている時はすっきりとした気持ちで歌えました。アンコールをもらったときの歌声は今までで一番良くて、友道校長先生からの「ブラボー!!」をもらえたときはビックリとうれしさを、本当に感動しました。このメンバーでできたこと。そして成功したことが何よりもうれしいです。たくさんの大きな大きな拍手をもらえて、自分たちは幸せ者だと思いました。



★本番の日は、見ている人も静かに見て、盛り上げるところは盛り上げてくれて、キャストの人の声もすごく聞き取りやすく、大きくて驚きました。スタッフの人たちもすごく手際が良く、テンポ良くストーリーが進んでいて、本番が一番いい出来上がりだった気がします。本番の力ってすごいなと思いました。



10月7日(土)に平成29年度大成館中学校文化祭を成功裡に終えることができました。

照明、音響、大・小道具、キャスト等々、また関係の部活展示等、心をひとつにして大文化祭を創り上げました。この文化祭を通して大中の伝統を感じました。伝統とは、在校生の思いや叫び、そして卒業された方々、先輩の魂がひとつになり引き継がれていくものだと思います。皆さんが高校等に進学しても、将来社会に出て、それぞれの学校・職場等で伝統というものがあります。それはお互いの絆を確かめるのに、一人ひとりをより成長させてくれる大切なものです。しっかりと守っていきましょう。

文化祭当日、大変お忙しい中、多くのご来賓の皆様方、保護者・地域・学校関係者の方々に越し頂き、心あたたまるご声援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

また、大中PTA役員・会員の皆様方には朝早くから駐車場、バザー等々大変お世話になりました。ありがとうございました。引き続き、大中教育に對しましてご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

校長 小寺 和宏

★仲間があると安心感があります。一人じゃ何もできないけれど、仲間がいるとできる。当たり前のことかもしれないけれど、それがすごく安心感があって、落ち着いて行動ができました。

